

## 一般入試[第1期]における出題過誤について（お詫び）

本学が2012年2月7日（火）から3日間実施しました一般入試〔第1期〕の中で、8日（水）の3教科型試験の「地歴・公民」世界史におきまして、出題に過誤がありました。

受験生、保護者のみなさま、および関係者の方々に多大なご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げますとともに、今後はこのようなミスが起こらないよう、再発防止に努める所存です。

## 記

1. 概要 試験実施日：2012年2月8日（水）  
合格発表日：2012年2月17日（金）  
試験科目名：一般入試〔第1期〕3教科型 「地歴・公民」世界史  
受験者数：184名（うち世界史選択者33名）

## 2. 過誤の内容

## 大問4

問5 下線部Eのインドシナ戦争の説明として誤っているものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 1954年6月フランス軍の拠点であったディエンビエンフーが陥落した。  
イ. フランスが植民地政策を復活させようとして始まった。  
ウ. フランスはヴェトナム民主共和国に対抗するため、ヴェトナム国をたてた。  
エ. フランスはラオスを保護国とし、インドシナ連邦に編入した。

（配点3点）

模範解答では「エ」を正答としていましたが、「ア」の「1954年6月」は正しくは「1954年5月」であったため、誤っている選択肢は「ア」と「エ」の2つとなりました。

## 3. 発見の経緯

3月19日に外部機関より、本学が提供した問題と模範解答に疑問があるとの問い合わせを受け、指摘された内容の確認を行ったところ、問題文の誤りであることを確認しました。

## 4. 対策等

## 過誤対応と影響

正答とする選択肢にアを加えて再採点を行い、アと解答した答案に配点の3点（世界史が最高得点であった場合は6点）を加点しました。世界史選択者33名のうちアを正答とし加点した方は8名です。

この加点により、第2志望も含め、可否に影響する方はいませんでした。また成績優秀者に支給される入学試験特別奨学金の対象についても新たに該当される方もいませんでした。

## 受験生に対する周知

3月23日（金）に受験者184名全員と、該当する生徒の出身高等学校に、過誤の内容とお詫びと対応についての文書を送付しています。加点した受験生8名の方には、得点に変更があったことと、この加点により可否等に変更がなかったことを記載した文書を同じく3月23日（金）付で送付しています。

## 再発防止について

今後は、入試問題作成にかかるチェック体制の強化に厳正に取り組み、再発防止に努力します。

以上